

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	
支出年月日	2022年 9月 9日
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)	
充当内容 (按分の計算方法)	$74971 \times 0.5 = 37,486$
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

領収書



日付: 2022年7月09日

領収書番号 [Redacted]

山口みさえ 御中

ラクスル株式会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥74,971-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
[Redacted]	チラシ・フライヤー,A3,両面カラー,光沢紙(コート),薄手:73kg,折り加工: DM折り(2つ折り+巻き3つ折り)	10,000部	2022年7月13日	¥67,695
注文内容:		商品:		¥67,695
		データチェックお急ぎ便:		¥460
注文合計:				¥68,155
消費税:				¥6,816
ご請求合計金額:				¥74,971
お支払い方法:				コンビニ支払い



安全や経費面で貴重な意見

JR芦屋駅再開発をテーマに市議会報告会

5月21日ウェブで

夏本番の季節になりました。みなさま、コロナ感染対策と同時に熱中症対策もしっかり行ってください。さて5月21日には、「JR芦屋駅南地区再開発事業」をテーマに、芦屋市議会報告会を初めてオンライン方式で取り組みました。

はじめに市議会の方から再開発事業の概要や議会で審議してきた経過を説明したのち、市民参加31人、議員20人が5つのルームに分かれて審議を深めました。交通課題やペDESTリアンデッキについて、また事業縮小や費用についてなど、市民の方から率直な質問や

JR芦屋駅で議会報告



意見が出されました。私が参加したルームでは、「経費を削減して無電柱化を取りやめているが、今後改めてやるとなったら莫大な費用が発生する。この時期にすれば無駄がなくてよいのではないか」「ペDESTリ

アンデッキも縮小されているが、イベント時など人が集まるときの安全面は大丈夫なのか」など意見が出されました。

山口みさえからは、できる限りの経費削減と合わせて先を見越した街づくりが

報告会で市民の方からいただいた意見（抜粋）

- 交通課題の解決にはきちんと費用をかけてやってほしい。
- 地価や資材の上昇などによる事業費増が考えられるが、市が努力して縮減ができる所とそうでない所を区分して議論するべきではないか。
- エスカレーターの下りが削減されているが、高齢者等には下りの階段は危険だと思う。
- 駅前の良い場所なので、公共施設は有効に使ってほしい。
- 芦屋の広報的な観光案内のような施設や、子育て世代対象の託児施設、図書館など多くの市民が利用できる施設を求める。

大切といってきた立場として、行事や有事の際の安全確保や将来人口予測も改めて議会や特別委員会で確認しながら、事業の進捗をしっかりと見ていきたいとお応えしました。今回の事業縮減案では、エスカレーターも上りだけで下りは設置されません。高齢化が進む中、市には将来的な財政状況を考慮しつつ、更なる利便性の向上の検討と不断の努力をと訴えています。

芦屋市議会議員

山口 みさえ

6月議会報告

コロナ関連予算の使い方方を審議

市民の暮らしや、学校現場、各事業所の実態に即した迅速な支援事業が展開できるよう、優先順位や事業内容の点検、市独自施策の提案を全力で訴えています。

各福祉事業所に 抗原検査キット支給

抗原検査（定性）キットが通所系の各サービス事業所（介護保険サービ



議会で発言する山口みさえ

ス、障がい福祉サービス、障がい児通所支援）に支給されます。

これまで通所サービスに関してには県からの補助がなく、事業所が自費負担していました。今回の補正予算で市の方がキットを用意してクラスター防止や事業所が再開しやすい環境を支援します。山口みさえは、市にキットを支給するだけでなく、使い方の指導もお願いしました。

感染対策マニュアルは見やすくし、広く共有を

教育委員会は2020年5月に「学校園にお

ける新型コロナウイルス感染症対策ポイントマニュアル」を作成し、2年間で25回の改訂を加え公表しています。

ただ毎回改訂力所が示されていないので、誰が見てもすぐにわかるよう改善していただきました。今年5月にマスク着用についての改訂（常時から基本に変更）がありましたが、教育委員会だけで理解を深めるのではなく、児童・生徒、教師、

保護者それぞれの立場で理解・共有することが大切です。

コロナに加え物価高 具体的な生活支援を

市民の方や、自営業の方の話を日々お聞きしていますが、コロナ禍で生活が逼迫しているうえ、食品や公共料金などの値上げラッシュでやりくりが大変です。このまま商売が続いていけるかどうか、日々不安を抱えていらっしゃると思います。

市民も自営業の方も、全てを支援できる事業として、以前にも実施した水道料金の徴収をしない

よう（期間限定で無料化）最終本会議で訴えました。

給食費高騰分を
来年3月まで市が補助

物価が上昇している中、

公立小・中学校の給食費の物価価格相当額（416万5千円）を保護者に負担させずに、国からの臨時交付金が下りてくるまでの間は、市が補助をします。期間は7月から来年の3月まで。

本来楽しいはずの給食が黙食によって、なかなか楽しい時間になり得ない中、せめて栄養価の高いおいしいものを提供したいと、学校の給食現場では調理師、栄養士ともに奮闘していただき感謝です。現在不登校児童が大変増えており、食事はしっかりとれているのか心配です。

なぜ学級を増設しない？

級とも規則で定められている45人を超えています。

の改善を求め続けているのに、今回も補正予算が

4月以降同学級は受け入れ児童がさらに増えてい

6月の補正予算で、放課後児童クラブ「すぎの子学級（岩園小学校内）」を増設するため918万2千円が可決されました。児童数が増加したので学級を増やすことに何ら異論はありません。ただ私が問題として取り上げたのは、この2年間児童数が超過して学級増設を必要としている精道小学

校内「ひまわり学級」についてです。

児童クラブは規則で児童定数が定められていますが、現在多くの学級が定数を超えて受け入れていますが、それは国が実際の登級率で定数を超えなければよいとしたためです。「すぎの子学級」の登級率は46・8人「ひまわり学級」は45・2人、両学



定数を超えても増設されない「ひまわり学級」

石綿被害者の救済 芦屋市も国に働きかけを

2006年にできた石綿健康被害救済法は、アスベストを使用していた事業所や工場で働く人だけではなく、周辺住民や家族にまで被害がおよんだことを受け、国の責任において救済することを目的につくられました。

法制定から15年が経過し、社会情勢も変わり患者家族の方たちは、労災補償との格差是正を求め救済から補償へと3つの緊急要望に取り組んでいます。

被害者の実態を受け止め、芦屋市も他市と連携し国に要望書を提出するよう求めました。

少人数数学級求める請願に賛成

委員会で教員不足の実態も訴える

教職員組合から、少人数数学級推進と義務教育の国庫負担率引き上げを求める請願が提出されました。

子どもたちに豊かな教

育を保障したいが、現実には貧困、不登校など解決すべき問題が山積しているうえに、コロナ禍で新たな業務も増え現場は疲弊しています。山口みさ



実態を委員会審議で精いっぱい訴えました。

えも、教員の方たちの思いを受け、加配教員不足の

来年10月から 指定ごみ袋導入

来年10月1日より芦屋市に指定ごみ袋制度が導入されます。目的はごみ

の減量化等を推進するため。

ごみステーションまたパイプラインに燃やすごみと燃やさないごみ（紙資源、ペットボトル、缶、ビン以外の物）を捨てる

ときに、市指定のごみ袋で出して、違反しているごみがあれば収集はしてもらえません（パイプラインも投入口下で違反が見つかれば投入口横にごみ袋は戻されます）。

西藏と茶屋集会所で「みさえ広場」が市政報告会

3月議会 子どもの環境整備に尽力

山口みさえ後援会「みさえ広場」は、4月24日（西藏集会所）、29日（茶屋集会所）で「市政報告会」を行いました。両日ともあいにく雨模様でしたが、多くの支援者に参加いただき、貴重なご意見をいただきました。



西藏集会所の様子

報告会では、山口みさえが3月議会の内容を報告。放課後児童クラブや適応教室など、子どもの政策を取り上げ発言したことを説明しました。参加者からは報告に対する質問や、ロシアのウクライナ侵攻など、幅広い意見が出されました。

アンケートへの協力ありがとうございました

「みさえ広場」では、山口みさえの活動や市政について、アンケートを実施しました。多くの方にご協力いただきありがとうございます。特徴的な意見をご紹介します。通信については、「議

無責任な議員辞職

大塚市議 虚偽発言の議事録修正せず

大塚のぶお議員が、5月31日に一身上の都合により議員辞職しました。辞める数日前には、この間自らが取り上げてきた

議員のパワハラ問題で、虚偽発言したことを反省し、市民にも説明責任を果たすと言っていました。が、その議事録の訂正や

会の様子がよくわかる」「生活に密着した内容を取り上げてもらっているのがある」「等のご意見をいただきました。芦屋市政について関心のあることについては、「教育」「福祉」が多く、現状に不満を持たれていることもよくわかりました。いただいたご意見につきましては、今後の議会活動にいかし、市民が大切にされる市政をめざし、これからも頑張っていきたいと考えています。

修正をしないまま大塚さんは議員辞職をしました。このことも無責任極まりないと思えますが、一身上の都合で辞職届を出しに来たとき、そのことを質すことなく議長が辞職を許可してしまったことも残念です。

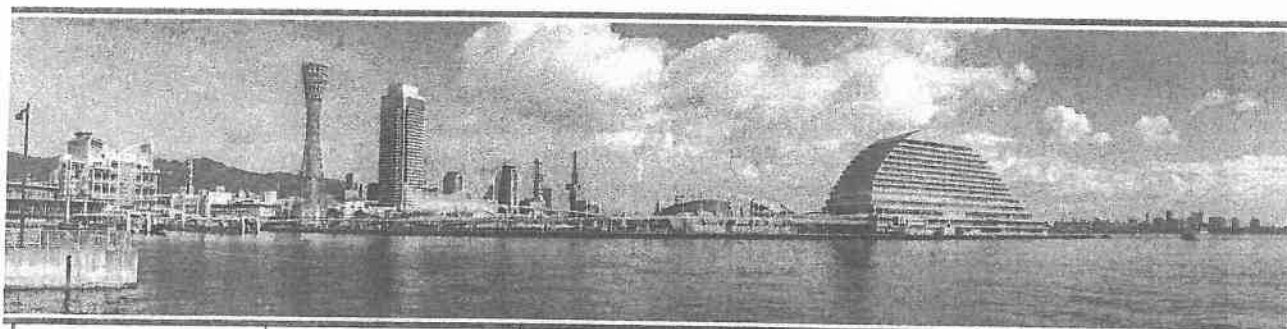
みさえのひとり言

3年ぶりに地域のフェスタが開催された。コロナ禍でことごとく行事が中止や延期されてきたが、冬場の爆発的な感染拡大から少し状況も落ち着いてきたところで、開催時間を大幅に削減し、内容も工夫して、感染対策もしっかり行っただうえで開催することができた。家に閉じこもりがちな高齢者の人に、フェスタで思いっきり楽しんでもらえるようにと準備を進めた。90歳を迎えた方の民謡1人舞台や、60歳を超えた人たちの青春時代のバンド演奏、時代劇風寸劇などあつという間に時間が過ぎた。みんなの笑顔を見ると老若男女が集まることの大切さを改めて感じる。今回集まれなかった方たちも次回はずいぶん加わりますように。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	10										
支出年月日	2022 年 7 月 12 日										
項目 (該当項目に〇をつけてください)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">調査研究費</td> <td style="width: 25%;">研修費</td> <td style="width: 25%;">広報費</td> <td style="width: 25%;">広聴費</td> <td style="width: 20%;">要請・陳情活動費</td> </tr> <tr> <td>会議費</td> <td>資料作成費</td> <td>資料購入費</td> <td>人件費</td> <td>事務所費</td> </tr> </table>	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費							
会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費							
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)											
充当内容 (按分の計算方法)											
その他											

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、し、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずクリップで留めて提出してください。



CLOSE* トップ	私たちについて	労災認定の事例	地震・石綿・マスク 支援プロジェクト	入会・お問い合わせ
------------	---------	---------	-----------------------	-----------

トップ < 私たちについて < センター概要

センター概要

ひょうご労働安全衛生センターとは

ひょうご労働安全衛生センター（略称：ひょうご安全センター）は、労働災害・職業病の撲滅、労働安全対策の充実、被災・り災労働者に対する十分な補償の実現を図るために、労働組合や市民団体・医療機関、そして社会保険労務士・弁護士などの専門家によって、2000年2月24日に結成された団体です。2006年11月からはNPO法人として活動を進めています。

ひょうご安全センターは、団体会員と個人会員によって構成されています。また、全国労働安全衛生センター連絡会議に参加すると共に、関係諸団体と連携をとりながら運動を進めています。

企業の利潤追求を第一に考えた作業環境のもとで、死亡災害がゼロになることは決してありません。今も労働者が何の責任もなく殺され続けていますし、過労自殺という痛ましい事例も後を絶ちません。少しでも働きやすい職場をつくっていかうとする私たちの運動は、自ら命を絶たなければならぬほど苦しんでいる労働者にこそ結びついていかなければなりません。

NPO法人 ひょうご労働安全衛生センター事務局

住所：〒650-0026 神戸市中央区古湊通1-2-5 DAIEIビル3階

TEL：078-382-2118

FAX：078-382-2124

[お問い合わせはこちら](#)

役員体制

理事長	小西 達也	ろっこう医療生活協同組合
副理事長	戸崎 正己	兵庫労災職業病被災者交流会
専務理事	西山 和宏	専 従
理 事	大島 恭二	明石地労協人権平和センター
理 事	岡崎 進	ひょうごユニオン
理 事	小林 一郎	兵庫県職員労働組合
理 事	小林 進	全港湾神戸支部
理 事	小林 るみ子	神戸市議会議員
理 事	田中 康弘	加古川市職員労働組合

労災・職業病・労働環境など
お気軽にご相談ください

TEL 078-382-2118



相談無料・秘密厳守
月～金：9:00-18:00

お問合せフォームも
ご利用いただけます



Facebookページへ



twitterへ

私たちについて

[センター概要](#)

[機関誌紹介](#)

[労災職業病・安全衛生
の取り組み](#)

[中皮腫・アスベスト疾患・
患者と家族の会](#)

[リンク集](#)

▲
page top

理事	藤本 浩	神戸地区労働組合協議会
理事	船曳 守一	明石市職員労働組合
理事	矢野 雅世	専 従
監事	宇野 克巳	全港湾神戸支部
監事	菊地 憲之	個人会員

アクセス

〒650-0026

神戸市中央区古湊通1-2-5 DAIEIビル3階

JR神戸駅、西改札から徒歩3分



入会案内

私たちの活動は会費や寄付によって支えられています。

あなたもNPO法人ひょうご労働安全衛生センターの会員になってください。

会費

- ※一般会員 会費：1口 年6,600円
(団体様の場合は2口以上でお願いいたします。)
- ※賛助会員 会費：1口 年3,300円

※本法人の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとなっています。

会費のお振込先 下記ご確認をお願いします。

寄付につきましても、下記の口座をご利用ください。

● 郵便局へのお振込

記号・番号： 00900-6-154825

口座名義： NPO法人ひょうご労働安全衛生センター

● 近畿労働金庫へのお振込

近畿労働金庫

▲
page top

店番：642（神戸支店）
 預金種目：普通
 口座番号：5070020
 口座名義：ひょうご労働安全衛生センター

プライバシーポリシー

NPO法人ひょうご労働安全衛生センターでは、以下の通り個人情報保護方針を定め、個人情報保護の重要性の認識と取り組みを徹底し、個人情報の保護を推進します。

● 個人情報の安全対策

個人情報へのリスク(個人情報への不正アクセス、紛失、破壊、改ざん、漏洩)の予防ならびに是正に努め、個人情報の安全性・正確性を確保致します。

● 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する法令・規範を常に意識し、その内容を遵守致します。

● 個人情報の収集と利用

収集した個人情報は、全ての労働者に対する労働相談、普及啓発活動、地位向上のための活動に利用します。

● 収集した個人情報の第三者への開示

収集した個人情報は、原則として第三者に開示することは致しません。ただし、以下の場合は除きます。

1. ご本人の承諾を得た場合
2. 法令等に基づき開示が要求された場合
3. 業務を委託する場合に、委託先に対して処理に必要な限度で個人情報を預ける場合。
4. 業務を受託する場合に、委託元に対して処理に必要な限度で個人情報を預ける場合。

● ご本人からの開示・訂正・利用停止等の申し出

ご本人から個人情報の照会・開示・訂正・利用停止等を求められた場合、または個人情報に関する相談や苦情を受けた場合には、すみやかに適切に対応をします。

● 個人情報保護に関するお問い合わせ先

個人情報に関する相談・苦情等につきましては、下記までお問い合わせ下さい。

NPO法人ひょうご労働安全衛生センター TEL：078-382-2118

この方針は2020年10月20日から実施します



トップ

私たちについて

センター概要

機関誌紹介

労災職業病・安全衛生の取り組み

中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会

リンク集

労災認定の事例

労災事故・障害補償・審査請求

アスベスト・中皮腫・肺がん・じん肺

パワハラ・うつ病・精神疾患

過労死・過重労働・脳心臓疾患

腰痛・上肢障害・振動障害

有機溶剤・有害化学物質・感染症

公務災害

労災・労働相談Q&A

地震・石綿・マスク支援プロジェクト

入会・お問い合わせ

プライバシーポリシー

(旧サイト)

☆

NPO法人ひょうご労働安全衛生センター

〒650-0026 神戸市中央区古湊通1-2-5 DAIEIビル3階

TEL：078-382-2118 FAX：078-382-2124

Copyright © Hyogo Occupational Safety and Health Center

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号																																																													
支出年月日	2022 年 7 月 25 日																																																												
項 目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費																																																												
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)																																																													
領収書	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: right;">様</td> <td style="width: 15%;">[別納引受] 区内特別基金 (定) @73</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">20.0g ¥74,825</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">1,025通</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>小 計</td> <td style="text-align: right;">¥74,825</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>第一種定形 @84</td> <td style="text-align: right;">19.5g ¥5,628</td> <td style="text-align: right;">67通</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>小 計</td> <td style="text-align: right;">¥5,628</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>郵便物引受合計通数</td> <td style="text-align: right;">1,092通</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>課税計 (10%)</td> <td style="text-align: right;">¥80,453</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(内消費税等 非課税計</td> <td style="text-align: right;">¥7,313) ¥0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">¥80,453</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>お預り金額</td> <td style="text-align: right;">¥90,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>おつり</td> <td style="text-align: right;">¥9,547</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> 印紙税申告納付につき廻町 税務署承認済 </div> <div style="margin-top: 10px;"> 〒100-8792 日本郵便株式会社 東京都千代田区大手町2-3-1 取扱日時：2022年7月25日 9:13 発行No. 22072546511 端N68箱11 送付先：戸屋郵便局 TEL: 0570-943-193 </div>	様	[別納引受] 区内特別基金 (定) @73	20.0g ¥74,825	1,025通				小 計	¥74,825					第一種定形 @84	19.5g ¥5,628	67通				小 計	¥5,628					郵便物引受合計通数	1,092通					課税計 (10%)	¥80,453					(内消費税等 非課税計	¥7,313) ¥0					合計	¥80,453					お預り金額	¥90,000					おつり	¥9,547			
様	[別納引受] 区内特別基金 (定) @73	20.0g ¥74,825	1,025通																																																										
	小 計	¥74,825																																																											
	第一種定形 @84	19.5g ¥5,628	67通																																																										
	小 計	¥5,628																																																											
	郵便物引受合計通数	1,092通																																																											
	課税計 (10%)	¥80,453																																																											
	(内消費税等 非課税計	¥7,313) ¥0																																																											
	合計	¥80,453																																																											
	お預り金額	¥90,000																																																											
	おつり	¥9,547																																																											
充当内容 (按分の計算方法)	80,453 × 0.5 = 40,227																																																												
そ の 他																																																													

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。



安全や経費面で貴重な意見

JR芦屋駅再開発をテーマに市議会報告会

5月21日ウェブで

夏本番の季節になりました。みなさま、コロナ感染対策と同時に熱中症対策もしっかり行ってください。さて5月21日には、「JR芦屋駅南地区再開発事業」をテーマに、芦屋市議会報告会を初めてオンライン方式で取り組みました。

はじめに市議会の方から再開発事業の概要や議会で審議してきた経過を説明したのち、市民参加31人、議員20人が5つのルームに分かれて審議を深めました。

交通課題やペDESTリアンデッキについて、また事業縮小や費用についてなど、市民の方から率直な質問や

JR芦屋駅で議会報告



意見が出されました。私が参加したルームでは、「経費を削減して無電柱化を取りやめているが、今後改めてやるとなったら莫大な費用が発生する。この時期にすれば無駄がなくてよいのではないか」「ペDESTリ

報告会で市民の方からいただいた意見（抜粋）

- 交通課題の解決にはきちんと費用をかけてやってほしい。
- 地価や資材の上昇などによる事業費増が考えられるが、市が努力して縮減ができる所とそうでない所を区分して議論するべきではないか。
- エスカレーターの下りが削減されているが、高齢者等には下りの階段は危険だと思う。
- 駅前の良い場所なので、公共施設は有効に使ってほしい。
- 芦屋の広報的な観光案内のような施設や、子育て世代対象の託児施設、図書館など多くの市民が利用できる施設を求める。

アンデッキも縮小されているが、イベント時など人が集まるときの安全面は大丈夫なのか」など意見が出されました。

山口みさえからは、できる限りの経費削減と合わせて先を見越した街づくりが

大切といってきた立場として、行事や有事の際の安全確保や将来人口予測も改めて議会や特別委員会で確認しながら、事業の進捗をしっかりと見ていきたいとお応えしました。今回の事業縮減案では、エスカレーターも上りだけで下りは設置されません。高齢化が進む中、市には将来的な財政状況を考慮しつつ、更なる利便性の向上の検討と不断の努力をと訴えています。

芦屋市議会議員

山口 みさえ

6月議会報告

コロナ関連予算の使い方を審議

市民の暮らしや、学校現場、各事業所の実態に即した迅速な支援事業が展開できるよう、優先順位や事業内容の点検、市独自施策の提案を全力で訴えています。

各福祉事業所に 抗原検査キット支給

抗原検査（定性）キットが通所系の各サービス事業所（介護保険サービ



議会で発言する山口みさえ

ス、障がい福祉サービス、障がい児通所支援）に支給されます。

これまで通所サービスに関してには県からの補助がなく、事業所が自費負担していました。今回の補正予算で市の方がキットを用意してクラスター防止や事業所が再開しやすい環境を支援します。山口みさえは、市にキットを支給するだけでなく、使い方の指導もお願いしました。

感染対策マニュアルは見やすくし、広く共有を

教育委員会は2020年5月に「学校園における新型コロナウイルス感染症対策ポイントマニュアル」を作成し、2年間で25回の改訂を加え公表しています。

ただ毎回改訂力所が示されていないので、誰が見てもすぐにわかるよう改善していただきました。今年5月にマスク着用についての改訂（常時から基本に変更）がありましたが、教育委員会だけで理解を深めるのではなく、児童・生徒、教師、

保護者それぞれの立場で理解・共有することが大切です。

コロナに加え物価高 具体的な生活支援を

市民の方や、自営業の方の話を日々お聞きしていますが、コロナ禍で生活が逼迫しているうえ、食品や公共料金などの値上げラッシュでやりくりが大変です。このまま商売が続いていけるかどうか、日々不安を抱えていらっしゃると思います。

市民も自営業の方も、全てを支援できる事業として、以前にも実施した水道料金の徴収をしない

よう（期間限定で無料化）最終本会議で訴えました。

給食費高騰分を
来年3月まで市が補助

物価が上昇している中、

公立小・中学校の給食費の物価価格相当額（416万5千円）を保護者に負担させずに、国からの臨時交付金が下りてくるまでの間は、市が補助をします。期間は7月から来年の3月まで。

本来楽しいはずの給食が黙食によって、なかなか楽しい時間になり得ない中、せめて栄養価の高いおいしいものを提供したいと、学校の給食現場では調理師、栄養士ともに奮闘していただき感謝です。現在不登校児童が大変増えており、食事はしっかりとれているのか心配です。

なぜ学級を増設しない？

級とも規則で定められている45人を超えています。

の改善を求め続けているのに、今回も補正予算が

4月以降同学級は受け入れ児童がさらに増えてい

6月の補正予算で、放課後児童クラブ「すぎの子学級（岩園小学校内）」を増設するため918万2千円が可決されました。児童数が増加したので学級を増やすことに何ら異論はありません。ただ私が問題として取り上げたのは、この2年間児童数が超過して学級増設を必要としている精道小学

校内「ひまわり学級」についてです。

児童クラブは規則で児童定数が定められていますが、現在多くの学級が定数を超えて受け入れていますが、それは国が実際の登級率で定数を超えなければよいとしたためです。「すぎの子学級」の登級率は46・8人「ひまわり学級」は45・2人、両学



定数を超えても増設されない「ひまわり学級」

石綿被害者の救済 芦屋市も国に 働きかけを

2006年にできた石綿健康被害救済法は、アスベストを使用していた事業所や工場で働く人だけではなく、周辺住民や家族にまで被害がおよんだことを受け、国の責任において救済することを目的につくられました。

法制定から15年が経過し、社会情勢も変わり患者家族会の方たちは、労災補償との格差是正を求め救済から補償へと3つの緊急要望に取り組んでいます。

被害者の実態を受け止め、芦屋市も他市と連携し国に要望書を提出するよう求めました。

少人数学級求める請願に賛成

委員会でも教員不足の実態も訴える

教職員組合から、少人数学級推進と義務教育の国庫負担率引き上げを求める請願が提出されました。

子どもたちに豊かな教

育を保障したいが、現実には貧困、不登校など解決すべき問題が山積しているうえに、コロナ禍で新たな業務も増え現場は疲弊しています。山口みさ



実態を委員会審議で精いっぱい訴えました。

えも、教員の方たちの思いを受け、加配教員不足の

来年10月から 指定ごみ袋導入

来年10月1日より芦屋市に指定ごみ袋制度が導入されます。目的はごみ

の減量化等を推進するため。

ごみステーションまたパイプラインに燃やすごみと燃やさないごみ（紙資源、ペットボトル、缶、ビン以外の物）を捨てる

ときに、市指定のごみ袋で出して、違反しているごみがあれば収集はしてもらえませんが（パイプラインも投入口下で違反が見つかれば投入口横にごみ袋は戻されます）。

西藏と茶屋集会所で「みさえ広場」が市政報告会

3月議会 子どもの環境整備に尽力

山口みさえ後援会「みさえ広場」は、4月24日（西藏集会所）、29日（茶屋集会所）で「市政報告会」を行いました。両日ともあいにく雨模様でしたが、多くの支援者に参加いただき、貴重なご意見をいただきました。



西藏集会所の様子

報告会では、山口みさえが3月議会の内容を報告。放課後児童クラブや適応教室など、子どもの政策を取り上げ発言したことを説明しました。参加者からは報告に対する質問や、ロシアのウクライナ侵攻など、幅広い意見が出されました。

アンケートへの協力ありがとうございました

「みさえ広場」では、山口みさえの活動や市政について、アンケートを実施しました。多くの方にご協力いただきありがとうございます。特徴的な意見をご紹介します。通信については、「議

無責任な議員辞職

大塚市議 虚偽発言の議事録修正せず

大塚のおお議員が、5月31日に一身上の都合により議員辞職しました。辞める数日前には、この間自らが取り上げてきた

議員のパワハラ問題で、虚偽発言したことを反省し、市民にも説明責任を果たすと言っていました。が、その議事録の訂正や

会の様子がよくわかる」「生活に密着した内容を取り上げてもらっているのがある」「等のご意見をいただきました。芦屋市政について関心のあることについては、「教育」「福祉」が多く、現状に不満を持たれていることもよくわかりました。いただいたご意見につきましては、今後の議会活動にいかし、市民が大切にされる市政をめざし、これからも頑張っていくたいと考えています。

修正をしないまま大塚さんは議員辞職をしました。このことも無責任極まりないと思えますが、一身上の都合で辞職届を出しに来たとき、そのことを質すことなく議長が辞職を許可してしまったことも残念です。

みさえの みごと

3年ぶりに地域のフェスタが開催された。コロナ禍でことごとく行事が中止や延期されてきたが、

冬場の爆発的な感染拡大から少し状況も落ち着いてきたところで、開催時間を大幅に削減し、内容も工夫して、感染対策もしっかり行っただけで開催することができた。家に閉じこもりがちの高齢者の人に、フェスタで思いっきり楽しんでもらうようにと準備を進めた。90歳を迎えた方の民謡1人舞台や、60歳を超えた人たちの青春時代のバンド演奏、時代劇風寸劇などあつという間に時間が過ぎた。みんなの笑顔を見ると老若男女が集まることの大切さを改めて感じる。今回集まれなかった方たちも次回はずいぶん加わりますように。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	12												
支出年月日	2022 年 7 月 29 日												
項 目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費								
	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費								
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)													
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">山口 みさえ</p> <p style="text-align: right; margin: 0;">様</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="font-size: 0.8em;">新聞・雑誌名</th> <th style="font-size: 0.8em;">部数</th> <th style="font-size: 0.8em;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">「しんぶん赤旗」日曜版</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">* 1</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">930</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: 0.8em; margin-top: 5px; text-align: right;">*印は税率8%</p> </td> <td style="width: 40%; vertical-align: top; padding-left: 10px;"> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">日本共産党発行の</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">しんぶん赤旗</p> <p style="font-size: 1.1em; margin: 0;">領収書</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">930 円</div> <p style="text-align: center; margin: 0;">2022 年 7 月分</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">日本共産党西宮・芦屋 地区委員会 〒663-8234 西宮市津門住江町5-11 TEL 0798-23-2281</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">領収日 7/29 扱者 </p> </td> </tr> </table> </div>						<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">山口 みさえ</p> <p style="text-align: right; margin: 0;">様</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="font-size: 0.8em;">新聞・雑誌名</th> <th style="font-size: 0.8em;">部数</th> <th style="font-size: 0.8em;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">「しんぶん赤旗」日曜版</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">* 1</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">930</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: 0.8em; margin-top: 5px; text-align: right;">*印は税率8%</p>	新聞・雑誌名	部数	金額	「しんぶん赤旗」日曜版	* 1	930	<p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">日本共産党発行の</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">しんぶん赤旗</p> <p style="font-size: 1.1em; margin: 0;">領収書</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">930 円</div> <p style="text-align: center; margin: 0;">2022 年 7 月分</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">日本共産党西宮・芦屋 地区委員会 〒663-8234 西宮市津門住江町5-11 TEL 0798-23-2281</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">領収日 7/29 扱者 </p>
<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">山口 みさえ</p> <p style="text-align: right; margin: 0;">様</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="font-size: 0.8em;">新聞・雑誌名</th> <th style="font-size: 0.8em;">部数</th> <th style="font-size: 0.8em;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">「しんぶん赤旗」日曜版</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">* 1</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">930</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: 0.8em; margin-top: 5px; text-align: right;">*印は税率8%</p>	新聞・雑誌名	部数	金額	「しんぶん赤旗」日曜版	* 1	930	<p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">日本共産党発行の</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">しんぶん赤旗</p> <p style="font-size: 1.1em; margin: 0;">領収書</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">930 円</div> <p style="text-align: center; margin: 0;">2022 年 7 月分</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">日本共産党西宮・芦屋 地区委員会 〒663-8234 西宮市津門住江町5-11 TEL 0798-23-2281</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">領収日 7/29 扱者 </p>						
新聞・雑誌名	部数	金額											
「しんぶん赤旗」日曜版	* 1	930											
充当内容 (按分の計算方法)													
その他													

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。